

いじめ「早期発見・事案対処マニュアル」

和泉市立横山小学校

【いじめの把握】

- 学級担任及び学級担任以外の教職員による発見
- 養護教諭による発見
- 児童本人からの訴え
- 児童本人の保護者からの訴え
- 本人以外の児童からの情報
- 本人以外の児童の保護者からの情報
- アンケート調査を通しての発見
- スクールカウンセラー等による発見
- 地域住民等からの情報
- 学校以外の関係機関からの情報
- その他

【いじめの報告】

(「いじめ対策児童指導委員会」の召集)
○把握者→(学級担任等)→生活指導担当教諭→教頭→校長

【事実確認・方針の決定】

(「いじめ対策児童指導委員会」における協議)
○事実関係の把握 ○いじめ認知の判断 ○指導方針の確認 ○個別指導の検討
○対応に係る役割分担 ○全教職員による共通理解 ○関係機関との連携

【いじめへの対処】

- いじめを受けた児童への支援(最優先)
- いじめを受けた児童の保護者への支援
- 周囲の児童への働きかけ・支援
- 和泉市教育委員会へSCやSSW等の派遣の要請
- 関係機関への相談(子ども家庭センター、こども未来室、和泉警察生活安全課等)
- いじめ解消の判断
- いじめを行った児童への指導
- いじめを行った児童の保護者への助言
- 和泉市教育委員会への報告

	いじめを受けた児童	いじめを行った児童	周囲の児童
校内	<input type="checkbox"/> いじめの行為から、徹底して守り通す。 <input type="checkbox"/> 安全確保のための巡視体制を強化する。 <input type="checkbox"/> 3か月を目安としたいじめ解消に向け組織的に注視し、心のケアと支援に努める。	<input type="checkbox"/> 他者の人権を侵害する行為であることに気づかせ、他者の痛みを理解させる。 <input type="checkbox"/> いじめは絶対に許されない行為だということを理解させる。 <input type="checkbox"/> ストレスマネジメント等を通していじめに向かわないよう支援する。	<input type="checkbox"/> 周囲の大人に知らせることの大切さを伝える。 <input type="checkbox"/> いじめを傍観したり、はやし立てたりする行為は許されないことに気付かせる。 <input type="checkbox"/> 自分の問題としてとらえ、いじめのない学級、集団を築く大切さを自覚させる。
保護者	<input type="checkbox"/> いじめに関する事実経過を丁寧に説明する。 <input type="checkbox"/> 今後の指導の方針や具体的な手立て、取組みについて丁寧に説明する。	<input type="checkbox"/> 事実経過を丁寧に説明し、家庭における指導を要請する。 <input type="checkbox"/> いじめを受けた児童及び保護者への謝罪について協議する。	<input type="checkbox"/> 当該児童及び保護者の意向を確認し、教育的配慮の下、個人情報に留意し、必要に応じて今後の対応等について協力を求める。

【再発防止に向けた取組み】

- 原因の詳細な分析
- 学校体制や指導内容の改善
- 家庭・地域との連携強化等を行う。